



ハオハオ!

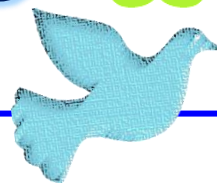
Season 2



No.38

はまぐち のりこ

みんなへ 3.11 をわすれないで



平成23年(2011年)3月11日、午後2時46分。

東北地方太平洋沖で大きな地震が起きました。みんなも知っていると思いますが、大地震の後に大津波が押し寄せ、たくさんの人たちが津波にのまれて命を落としました。この大きな地震と大津波による災害を「東日本大震災」といいます。

そして今日は「東日本大震災」から14年たった日です。

私たちが忘れてはならない日です。担任の先生やお家の人と読んでください。

昨日の10:00に国(内閣府)から「東日本大震災」の被害の様子が改めて発表されました。死亡された人は19,782名(震災関連で亡くなった人を含みます。)、行方不明の人は2,550名、被害に遭われた人のうち、27,615名が地元や全国各地で避難生活を続けています。去年もふれましたが、三重県にも移り住んでおられる人がたくさんいます。

先日の中日新聞に、四日市市の中学校で開かれた防災講演会の記事がのっていました。岩手県釜石市から2人の震災体験者の方を招いてお話をしていただいたのだそうです。当時中学校1年生だった人とその学校の理科の先生のお話でした。津波のことについては、「さっきまでいた町が黒い海になっていてぼうぜんとした。」と書いてありました。「黒い海」はテレビで見たことがあるという人もいます。

また、避難先の体育館での様子については、「家の人と連絡がとれるまで1週間近くかかった生徒もいた。」とも書いてありました。家族が元気かどうか分かるまで1週間も一人ぼっちでいた子どもの心細さはたいへんなものだったと思います。

自然災害のおそろしさは、人間の力を大きく超えてくることにあります。当たり前前の生活がうばわれてしまう経験など誰もしたくはありません。でも、いつかその日が来るかもしれないと考えて私たちは準備をしなければなりません。

能登半島地震から1年が過ぎましたが、まだまだ復興の途中です。東日本大震災で被害に遭われた人も恩返しがしたいと支援活動に入っておられます。「ハオハオ! No.30」で紹介したように、修道小の先生もボランティア活動に参加しました。

自分たちでできることで支え合うこと。その気持ちを大事にしたいです。

そして、私たちも「当たり前のように過ごしてしまう毎日」をもっとていねいに生きていきたいとします。「朝、自分で起きているかな?」「スマホやゲームばかりしていないかな?」「友だちや家族を大切にしているかな?」「ちゃんと、『ありがとう』『ごめん。』が言えているかな?」と自分を見つめて、「当たり前だと思っている毎日」は決して当たり前ではなく、「たくさんの人のおかげでできている」ということをみんなで考えたいと思います。

少しずつ、やるべきときにやるべきことをやっていこう!



3月19日 卒業式が目前です

卒業式練習が始まりました。卒業式は学校行事の中で最も大切な儀式です。小学校での学びをすべて終えて巣立とうとしている6年生。卒業証書を受け取る練習風景も真剣そのものです。明日は総練習の日です。最高の卒業式になるように体調を整えて本番を迎えてほしいです。

5日(水)には、地元の書道家 飯田祥光先生をお迎えして卒業式場に展示する色紙(思い出をふりかえる漢字一字)の書写指導をお願いしました。練習半紙に向かう姿勢や文字がきりりとなりました。お忙しい中、ご来校いただきありがとうございました。



白玉団子 作れます!(5年生)

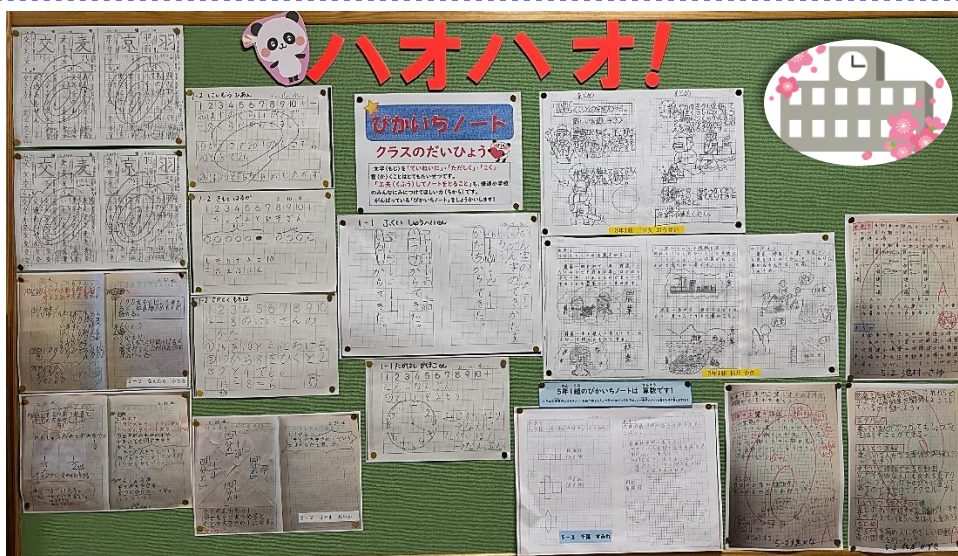


5年生が調理実習で白玉団子作りに挑戦しました。きな粉とあんこ、みたらしのミックス味で、白玉も耳たぶのようにやわらかくて、とてもおいしかったです。「家でも作ります!」と教えてくれました(^^)/

今年の「ぴかいちノート」もすてきです!

校長室前に各クラスの代表ノートを掲示しています。字のていねいさ、鉛筆の濃さ、工夫(ノートを見たら授業内容がわかる)などが選ばれたポイントです。

修道小には、ノートがしっかりとれる人、文字を書くときに読みやすさを考えられる人がたくさんいます。担任の先生たちは、どの人のノートを選ぶかをとても迷ったそうです。うれしい悩みです。この機会に友だちのノートを参考にしてくださいね!さらに力がつきますよ。



「学校ホームページ」…間もなく 100,000 アクセス

